

緊急プラン(素案)・ゼロ試案に対する市民意見【障害】

No.	種別	意見
9	障害	<p>番号56について 箕面市内でリサイクルをしている障害者団体はその資金で障害者の雇用や自立を進めています。市民の方々に提供して頂く品物の中でもたくさん売れないものや売れ残りが出てきます。我々のリサイクル事業は、市民の方がいらなくなったものを他の必要としている人を買ってもらう為、ゴミの軽減に繋がっています。雇用助成金の削減に続き減免の廃止は大きな痛みです。箕面市が人権、障害者の雇用、自立の事を本当に考えているのならば、減免の廃止は取り消してください。</p>
44	障害	<p>福祉サービス 移動支援にかかる経費について箕面市の持ち出しが、近隣の他市との比較でよそはこのくらいという理由で行動の自由が極端に制限される支給時間の制限があってはならないと思います。私は安全安心確実に移動できるためにガイドヘルパー派遣制度を利用させていただいています。そして、これは一月あたりに利用できる時間が決まっています。日常生活、社会参加に有意義に利用させていただいているわけで大変に感謝しています。ところがゼロ思案の影響なのか厳しく利用できる一月あたりの時間が今までより厳しく制限されようとしています。私は、箕面市障害者市民施策推進協議会の委員箕面市障害者事業団の理事、ライトピア21の運営委員、箕面市身体障害者福祉会の常任理事、などをさせていただいておりますがこのままではこれらの職務を遂行することが困難になります。聖域なき財政改革という趣旨は理解しつつもこのままでは障害者計画にも乖離します。</p> <p>ですので、行動の自由を担保するためにも社会参加をするためにも地域で生活するためにも移動支援の支給時間を削ることは反対です。</p> <p>デマンドバスについて 見直しについて項目があります。しかしながら、新しい要綱について未だ審議されていない状況で思案に盛り込むことはパブコメの信頼性、プロジェクトチームの存在意義について疑義が生じます。ですのでこの項目ははずされて審議されて後に盛り込むかどうかについて検討されることを要望します。</p> <p>癌検診の有料化について 有料化することによって、市民の受診率が低下することが考えられます。有病率の増加が保険者の箕面市の国民健康保険に入れなければならない金額が増加することが考えられます。このことについて調査、検討をされたのでしょうか。</p> <p>生涯学習センターにおける質疑応答においてはされていないとのことでしたがこの後についてされたのでしょうか。このことが明確でない状況で他市では有料なのでという理由で有料化に踏み切られることはいかがなものかと思えます。</p> <p>以上宜しくお願いいたします。</p>
51	障害	<p>あたしは接客たいどというものがぜんぜんできてません。あたしは豊能障害者労働センターで働いて8年にもなります。障害者事業はこのままつづけていけるのでしょうか？</p>
54	その他	<p>ありがたくいただく品にもよごれ、破損はつきもので、やむなく処分しなければいけない時もあります。大切にみつかったも、こわれてしまう物もあります。クリーンセンターにもっていくのにお金がかかる様になると、私たちの生活もいろいろたいへんになります。どうかお金がかからないようにしていただきたいのです。お願いします。</p>

No.	種別	意見
55	障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が今東部にある無認可作業所ZEROの家で働いています。東部には障害者が働く場所がないので、4中、6中の親と先生方で作った作業所です。立ち上げてから16年！地域に根付き、色々な方々から品物を持って頂き、買って頂いています。これぞまさに箕面市が目指すノーマライゼーションです。また無駄をなくすリサイクル、エコロジーにもなっています。また、東部の地域性でしょうか、日本以外の国の方々が多く住むので、他国の方々にも役立っていると思います(日本は物価が高く生活しにくい)。 ・ ZEROの家は今、岐路に立たされています。無認可の作業所制度が2年にはなくなるという事で、先日の運営委員会で事業所を目指すことになりました。無認可の作業所から事業所へ、今の(事業所の)制度では難しいので、どうか支援をお願いいたします。ZEROは区分認定6の方も2人働いています。リハビリやクリニックへ週一回通わなくてはなりません。 ・ 今の事業所の制度、最低賃金の4分の3(30時間/週以上の方)の保障をどうか(24時間)(6×4)に改めてください。 ・ 一緒に働く職員の賃金も確保し、また多くの障害者に働いてもらいたく、もう1店出店を計画しています。リサイクルショップを計画しているので、ある程度の広さが必要になります。移行に向けての家賃補助をお願いいたします。 ・ 今、障害者福祉と協議をしているところですが、スムーズに移行できるように暖かい支援をお願い致します。
74	その他	<p>案件56番について</p> <p>豊能障害者労働センターでリサイクル事業をさせてもらっています。市内はもちろん、各地からバザーの品物を提供して頂いています(自費で送って下さる方が多いんですよ)。そんな気持ちを受け止め、毎日どういうふうになれば提供していただいた物たちが、またいっぱいの人に出会えるのかと考えています。でも残念ながらどうしてももう一度人にめぐり合えない物たちの方が多くなってきています。例えば(ほんの一部ですが)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 焦げ付いてしまったなべやフライパンなどの調理道具 ・ かなり賞味期限の過ぎてしまった食品、缶詰など ・ いっぱいかけてしまっている食器 ・ 大切にしていたであろう、すりきれたり色あせたカバンやくつ ・ かわいがっていたワンちゃん、ネコちゃんのトイレやゲージ、とりかご、ハムスターのおうちなど ・ お父さんが昔使っていたゴルフ道具(形から女性ものと思えないので...) ・ 本当はリサイクル方で私たちの所ではお断りしている電化製品が店先に置かれていたり... ・ こうした私たちの中でどうしてもリサイクル商品として売れない物は、クリーンセンターの方でお願いしていたのですが、来年度から減免なしになる方向だと知り、本当に困っています。今でもバザー用品を置いている倉庫の家賃もかなりの負担なのに、減免なしになると、先に書いた物たちの行き場がなくなり、倉庫はあふれ、仕事ができなくなります。一度、今の状況を見ていただいて、判断してもらえないでしょうか。よろしくお願いします。

No.	種別	意見
87	障害	<p>35障害者グループホーム補助金 38あかつき福祉会への補助金(ショートステイに関するもの) 92自治、社会生活訓練の見直し いずれも(仮称)あかつき福祉会総合支援センター建設により事業移行して廃止するものとなっていますが、あかつき福祉会独自で行うにはかなり難しいことです。市としてこの事業が前に進むように何らかの支援が必要であると思われます。</p> <p>38について、今まで色々な障害のある人をライフプラザのショートステイで受け止めてきました。もし総合支援センターができたとしても、重い障害をもった人が利用し続けられるように加算補助は必要であると思われます。</p> <p>92について、障害者にとって家庭から離れて生活体験をすることはなかなか機会もなく、この事業はよい社会体験、生活体験をする場となっています。この事業を経験することは、その方の自立生活への第一歩となっています。</p> <p>当会会員の多くがこの事業を利用して家庭から離れて生活しています。新しい生活を始めるのに戸惑いもなく、新しい生活になじむことができました。</p> <p>19借上公営住宅の借上料削減について 障害者対応の賃貸住宅が少ない中、借上公営住宅のオーナーへ借上料が15%削減されるとことは、ますます障害者が生活できるような低料金の賃貸住宅が減ってしまうように思われます。また今入居されている方にとっても家賃が上がるなどの影響ができれば、生活そのものが脅かされます。どうか削減する前に借上公営住宅に関する実態調査を行って、あまり利用者の人に影響の出ないようにしてください。</p>
132	障害	<p>皆様からいただいた品物がお店とかバザーとかつながって、お店とかバザーとか、どうしても売れ残った中には使えない分もあって、いままで無償でしょぶんをしてました。それがもしお金がかかることになれば、僕たちのリサイクルの仕事はむずかしくなります。</p> <p>お店とかバザーとかに売ったりその品物がまたお客様にわたってよろこぶ顔が見れなくなってできなくなります。なんとかいままでどうりをお願いします。</p>
133	障害	<p>しょうばいをする。 レジをうつ かばんをうったり くつをうったり ふくをうったり しょっきをうったり してる。 うれのこってゴメン</p>
134	障害	<p>56について 僕たちのリサイクル店の倉庫にはバザー品があつまり、つかえないものをクリーンセンターに出しているが、ゆうりょう化になるとクリーンセンターへは物を出せなくなります。僕たちのしごと場でのリサイクルじぎょうは大切なもので、5つのリサイクル店うり上げが僕たちのきゅうりょうの一部になります。箕面市からの助成金は今年度からへる。来年度いこうも助成金はへることが決定しているが、僕たちのしごとばのじぎょうでリサイクル部門は中心てきじぎょうのため、ゆうりょう化するのは中止してほしい。</p>
135	障害	<p>56について 私は服のしわけのリサイクルの仕事をしています。ずっとやってきました。お金がとられたりしたら仕事にしんどくなってしまふ。のでこまります。</p>
136	障害	<p>私たちは、ゴミのげんめん中止してはいけないと思う。団体に、こまりますよ。そのままをお願いします。</p>

No.	種別	意見
137	障害	われたしょっきがありました。けがするこまる。きれいなしょっきがありました。うれしいうれます。たすかります。こまるものは、ほかすことになります。お金がなくなるのはこまる。4けいすもほかすことがあります。
138	障害	障害者事業所で働いています。リサイクル事業は、私たちの大切な事業です。5件のリサイクルショップの営み、「平和を願う春のバザー」「着物市」「古本市」。私たちのリサイクルは、全て、市民の方々の提供して下さった品物で成り立っています。「買います」という大きな看板のリサイクルショップが年々増加している状況が確かにあります。それでも、ほんとうにたくさんの方々が「障害をもつ市民が運営し、事業を担い、多様な働き方の中で、各々自立を築いていく」私たちの活動を応援して下さり、リサイクルの品物を提供して下さいます。私たちは、その品物を、自分たちの事業というフィルターを通して、所得をつくり出し、この町ではたらき、くらすことを、つなぎ続けてきました。けれど、いただいた品物の100%がお金に変わらないことも事実です。どうしても売れ残ってしまうもの、商品にならなかったものが、確実に存在します。けれど、それは、私たちの事業の副産物です。提供していただいた品物があり、障害者が担う事業があり、そして出てしまうゴミというものがある。私たちの事業の確かな副産物です。このことが、有料化になれば、私たちの事業は大きくゆらぎます。「ものを活かして、みんなで生きる」その中から生まれたゴミというものです。さいごまで、生きたカタチを取るべきだと思います。ゴミを出すのだから有料というのは、あまりにも乱暴です。経過と結果をしっかりと見て示してください。
140	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
141	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
142	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
143	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。

No.	種別	意見
144	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
145	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
146	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
147	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
148	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
149	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
150	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。

No.	種別	意見
151	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
152	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
153	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
154	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
155	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。
156	障害	42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。 無事に移行できるまで支えてください。もし、作業所が存続できなければ、利用者は行き場を失い、また閉じこもりの生活に戻ってしまいます。現在17名が通っていますが、障害者の7～8割が中途障害者と言われています。無事に移行し、定員を増やし、より多くの方に生きがいを持って働き、暮らして欲しいです。

No.	種別	意見
157	障害	<p>42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 法定事業所への移行は、時間もお金もかかります。そんな状況で補助金を削られれば、施設移転・事業移行を成し遂げることは困難です。 また、移行支援策の内容が未確定の状態では、この提案を受入れることができません。 私たちの作業所が完全に法定事業化できるまで、安定した支援をお願いします。 地方自治法第2条住民の安全、健康および福祉を保持する 憲法第25条生存権、国の生存権保障義務 (1)すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する 地方自治体は住民の事をもっと考えるべきで、特に障害者、子供、老人の生活を守る為に税金を使うべきであり、保障すべき！</p>
158	障害	<p>42 障害者福祉作業所運営補助金 1割削減には反対です。 障害者福祉作業所の運営補助金を1割削減した場合のプラスの効果が見えません。 逆に、前向きに法定事業所化に取り組んでいる施設にとっては、マイナスの効果であることは間違いありません。 法定事業所化には、現在の作業所運営に加え、多額の費用が必要となります。 (1)移転:無認可作業所レベルの施設では移行はありえません。施設として使用する為の基盤整備だけで、少なくとも2000万円は必要 (2)移行:認可をとる為の膨大な事務手続、条件を満たす為の人員配置、また周囲の協力を得る為の啓発活動など、現在以上の職員を必要とします。移行後の支出計算は、無認可作業所の1.7倍を予想しています。 場当たりの支援ではなく、現場の声を是非聴いていただき、実情に合う移行支援をお願いします。</p>
159	障害	<p>42 障害者福祉作業所運営補助金 一割削減に反対します。 「第四次箕面市総合計画」によると、高齢者への介護サービスの安定供給とサービス選択の幅を確保するため、NPOや民間事業者との役割分担によるサービス供給体制の確立を図ります。さらに、介護ニーズの変化に応じた独自の施策や介護予防サービス等を実施するとともに、長寿社会に対応した高齢者の就労活動や地域における社会活動を支援していきます。 障害のある市民がそれぞれのライフステージにおいて自ら選んだより自立した生活を送れるよう、地域での生活に必要な移動支援や介護サービス等を整えるとともに、生活の場や働く場の拡大を図っていきます。と「第四次箕面市総合計画」に書かれているように、自立支援法制度への移行に向けた支援策や安定運営に向けた移行後の激変緩和措置等の新設を是非お願いします。</p>

No.	種別	意見
172	障害	<p>ごみ廃棄処分にかかる費用について 私は豊能障害者労働センターで働いています。ごみ廃棄の減免措置がなくなるかもしれないということで、非常に心配しております。</p> <p>・豊能障害者労働センターのリサイクル事業が担う役割 (1)市民から本来ゴミとなる不用品を提供いただき、手入れしてリサイクルショップで販売することで資源の有効活用を行っている。 (2)そのリサイクル事業を通じ、ものの循環に対する市民の意識を高め、障害者の仕事を生み出して雇用を広げることができる。</p> <p>・減免措置の意義 ゴミの削減、市民の啓発、障害者の仕事づくりという点において、市が減免という形でそれを補完する意義は十分にあり、市民に対して明確に説明し得ることであると考えます。豊能障害者労働センターとしても、むやみに不用品を受けているわけではなくて、電化製品、大型家電他、活用しにくいものは引き取りをしないルールを定めています。市全体のゴミ削減に対する有効な投資として、豊能障害者労働センターの一般廃棄物処理の全額減免を引き続きお願いします。</p>
187	その他	<p>25番福祉予約バス運行事業について、23年度までに削減予定が変更になって、22年度10月までに5割削減となっています。内容がまったくわかりませんが、そんなに急いで削減して障害者や高齢者など移動困難な人を切り捨てるような案が出てくるのではないかと心配です。市内の公共交通機関を利用しようと思っても、たとえばバスひとつとってもノンステップバスの本数は非常に限られているし、時刻表示がされていない路線もあるなかで自由な移動は困難です。また、阪急電車もバリアフリーになりつつありますが、駅のエレベーターはすべての人が使えるような設備にはなっていません。たとえ北急が延線しても10年後ですし、非常に限られた目的地にしか行けません。介護タクシーも年金暮らしの高齢者や障害者が運賃の高いタクシーを乗ろうと思ったら生活を切り詰めないといけません。交通弱者にとって難しい状況です。他市にはない制度だからと乱暴に削るのはどうかと思います。もう少し市民の目線で物事を考えてほしいです。ここまでの意見は全体意見ではなく、障害分野の意見に入れてもらいたいですが、最後にひとつ、全体に言えることですが、全く詳しい内容を示さずに意見を求められても困ります。まずここを改善してほしいと強く望みます。</p>
188	障害	<p>障害者作業所の補助金1割削減に反対です。 私たち、そよかぜの家は、長年にわたって、箕面市独自の制度である障害者事業所への移行を要望してきました。障害者事業所は、作業所に比べて補助金・助成金の金額は格段に低いのですが、労働という観点に基づく画期的な制度だと考えるからです。そこでは、働く障害者に、最低賃金を支払うことが義務付けられています。私たちは、作業所の制度のもとでも、可能な限り、高い工賃を支給すべく努力してきましたが、どうしても、最低賃金のところには到達できませんでした。この制度に移行して、障害者に最低賃金を保証して、将来の彼らの自立に向けての足がかりにしたいと考えています。障害者事業所への移行は、経営体質の強化、利益を生み出す経営への発展なしには不可能です。作業所の補助金の1割削減は、この強化・発展を阻害し、移行を不可能にします。この削減案の廃止を要望します。</p> <p>一般廃棄物の減免の廃止に反対です。私たち、障害者作業所がおこなっている、リサイクル事業とともに発生するゴミは、もともと私たちのごみではありません。資源の有効活用を願って、市民の方々が提供される品々を、使えるものは再利用し、そうでないものはクリーンセンターに運ぶ。市民サービスの一環ともいえます。減免がなくなるのは納得いきません。 市民会館等が、指定管理者制度に移行される計画になっていますが、公共の利益のための催しは、減免制度を引き続き維持されることを望みます。</p>

No.	種別	意見
190	障害	<p>貸館の制度 将来的にはこの貸料を復活させるというニュアンスを含んだ文面に、あの試案はなっている。障害者団体は、少しでも、障害を持っている人たちに払う給料を増やしたいと思って活動しているのに、これではつむお金がますます減っていく不安がある。施設を貸してもらってそこで得た売り上げなどをそのまま貸料にまわさなければならなくなったらバザーなどをやる意味はなくなる。</p> <p>補助金の1割削減 箕面の障害者作業所、事業所は特別な思いで活動している。労働に軸足を置いて活動しているのだ。このことは、我々と市とで話し合いを積み上げてきた中で到達したひとつの理念だと理解している。箕面市が我々との話し合いに割いてきた時間、その労力は全国の自治体が見習う価値のあるものだと私は思っているが、そうやって得てきた理念を市はつぶそうとしている。作業所制度からより働くことに軸足を置いた事業所制度へ多くの団体は移行しようとしているが、その過程で事業がキドウに乗るまではお金がいる。しかし、削減しますよ。と来られたら移行どころのサワギではなくってくる。市としての存在意義をこういうところでなくすのは得策ではないはず。</p> <p>ごみの処理料減免について 多くの障害者団体はリサイクル事業をしている。その中で発生する「ごみ」の処理にお金がかかったら、リサイクル品販売で得たお金をまわさないといけなくなり、「リサイクル事業」をする意味がなくなる。</p>
191	障害	<p>現在、箕面市における、障害者作業所及び事業所は、リサイクルを事業として運営されている所がほとんどです。 今回の一般廃棄物の減免の制度が廃止がおこなわれるとリサイクル品の回収が困難になり運営もたちいなくなってしまう。 もう一つに市民会館等が指定管理者制度となるようですが、なった後も障害者団体が交流や交流バザーなどで使用する時は、今までどおり減免制度を利用できるようにしていただきたい。 そよかぜの家は作業所から事業所にかかわろうとしています。事業所化するには新しい事業を作り上げていかなければなりません。1割を削減されると、現状ではやっていけません。作業所の1割削減は反対です。</p>
192	障害	<p>25:福祉予約バスの見直し = 2010年10月対象者の見直しを含め、新たな移動支援制度を構築。現在使いたい人が使えない状況であると、聞いていますので制度の再構築は必要であると思います。しかし今までの状況の分析がきちんと出来ていないと担当課から聞いているので、見直しにおいては、本当に必要な方が使える制度への変更であることを要望します。削減有きが先行するのではなく、移動困難者が安心して使える制度の構築を進めてください。Mバスの見直しでより移動困難者への支援が検討されるべき状況の中で、新たな移動支援制度の構築は慎重にお願いします。</p> <p>42:障害者福祉作業所への補助金 = 法定制度への移行支援を行った上で、2010年度・2011年度に1割削減。 大阪府が2011年度で福祉作業所への補助金を廃止するため、箕面市においても障害者福祉作業所の制度が廃止されます。1割削減については、前々から言われはしていましたが、制度そのものが廃止される状況の中で、新たな方向性を検討していく、準備段階である時期に1割削減は作業所にとって痛手です。2年後には大きく状況が変わる時期であるので、一律1割削減と言うことではなく、5%であるとかを検討していただきたいと思います。</p> <p>54:駐車場の有料化 これについては支持します。 ライフプラザ・市立病院の3時間無料も検討すべきであると思います。</p> <p>56:ごみ処分手数料の改定 = 一般廃棄物処分手数料を2010年10月から改訂・減免制度廃止 箕面市は処分手数料が安いので改訂は必要であると思います。ただ同時に減免が全廃というのは納得できません。ソフトランディングを検討していただきたい。ゴミの有料化からリサイクル関連のところに、どっと集まってくるという状況が生まれている。障害者団体でリサイクルをしているところは、回収のところで断ると言う自衛はしているが、それでもやはり増えている。作業所の前に勝手に置かれているという状況も多々ある中で、全て 有料ということは、作業所にとって多いに痛手である。作業所がリサイクルをすることによって、ゴミの減量にもなっていると思っています。改訂後同時に減免全廃と言う状況にならないよう検討してほしいと思います。</p>

No.	種別	意見
193	障害	<p><番号42 番号44> 移行支援策の内容が具体的に示されていない。移行は現行事業を維持しながらの作業である。現行の予算確保 + 移行支援が必要ではないか？</p> <p><その他> ゼロ試算にもらずに、予算削減されている事業が多いのではないかと？例えば、精神障害者市民地域交流事業は、毎年約1割削減されてきている。地域の中で、障害者に対する差別や偏見は根強く残り解消されていない。議論抜きの一時的な削減はやめて欲しい。</p>
197	障害	<p>12月13日(日)開催のゼロ試算説明会に参加いたしました。</p> <p>バリアフリー水泳教室に関して、次年度の実施が確認できましたので安心しました。最終案での改定と次年度以降の継続をお願いいたします。予算の内訳で、バリアフリー水泳教室に約300万円計上されています。もし2施設で年間10回行われていると仮定すると、1回15万円の計上です。高額なように感じますがこの予算の内訳を簡単に説明していただけませんか？バリアフリーの水泳は年間10回ですが、多くの障がい児たちは楽しみにしています。可能でしたら参加費を増額してでも年間開催回数を増やしていただきたくお願いしたいのですが、参加費がいくらになったら可能なのですか？参加費が多少値上がってもバリアフリー水泳教室に参加したいと思っている家庭は多いです。箕面市に住む障がいを持つ子供は、民間プールでは断られ、公営温水プールはなく、バリアフリー水泳教室の10回しか水に親しむ機会が与えられていません。年間を通じいつでも水泳可能な健常児に比べるとかなりの不便を強いられています。(泳法をマスターしたくても民間では断られ、学校の授業では不十分。水に親しむ楽しみ方の幅を広げてあげたいと思う親の気持ちが実現できない状態にあります。)また継続思案している市営温水プールの計画も実現していただければと思います。障がい児は民間施設では体験水泳すら断られる場合が多いです。</p> <p>屋外の公営プールが2施設あるとのことですが、年間の稼働は夏場の3～4ヶ月のみに限られています。箕面市の人口比に対しての施設としては十分ということでしたが、実際に冬場は稼働していません。可能でしたら22年度予算最終案について、市民との説明会の開催をお願いいたします。よろしくお願いいたします。</p>